

佐賀県の農林水産業の概要

特徴・取組

佐賀県は九州の北西部に位置し、総土地面積が約2,400km²で、10市10町で構成されている。県北東部の脊振（せふり）山地は、北の玄界灘と南の有明海に向かって分水嶺をなし、有明海に面する南部は広大な佐賀平野を形成、豊かな農地で野菜や米が盛んに生産されている。

年間平均気温は16℃前後、年間降水量は山間部で約2,500mm、平野部や北部の玄界灘付近で1,800mm程度である。

佐賀県の産業構造をみると、農業や水産業に代表される第1次産業のウェイトが全国に比べ高い。製造業では陶磁器が伝統産業として有名だが、最近では半導体や自動車関連産業の集積が進んでいる。

県内総生産（名目）は、令和3年度で3兆1,792億円となっており、これを産業別にみると、第1次産業が726億円（構成比2.3%）、第2次産業が9,858億円（構成比31.0%）、第3次産業が2兆970億円（構成比66.0%）となっている。

佐賀県の農業は、温暖な気候や肥沃な土壌など、恵まれた自然条件を活かしながら、平坦地域では、米・麦・大豆をベースに、たまねぎ等の露地野菜を組み合わせた生産性の高い水田農業や、いちご・アスパラガスなどの施設野菜が展開され、中山間地域では、みかんやなし等の果樹経営や肉用牛をはじめとした畜産経営などが行われており、地域の特性に応じた多彩な農業を展開している。

耕地面積は4万9,600ha（令和6年）で、県の総面積の20%を占め、うち8割を占める水田においては、二毛作（夏期に米・大豆、冬期に麦類・たまねぎ）が盛んで、耕地利用率（田畑計）は133.3%（令和5年）と38年連続で全国1位である。

林野面積は11万218ha（令和6年）で、県の総面積の45%を占めている。人工林は林野面積の67%の7万3,517ha（令和6年）と全国1位で、広葉樹等からなる天然林は少ない。

有明海では、ノリ養殖が盛んで、玄界灘では、いか、あじ、さば等の漁獲、内湾では、たい、真珠等の養殖が行われている。

「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」に基づき、「磨き、稼ぎ、未来へつながるさが農業・農村の実現」を目指す姿に掲げ、稼ぐ農業経営体の創出に向けた磨き上げや次世代の担い手の確保・育成、活力ある農村の実現に取り組んでいる。また、「さがの森林・林業ビジョン2023」に基づき、持続可能なさがの森林・林業の確立に取り組んでいる。

主な農林水産物

いちご

鮮やかな赤色と爽やかな甘みが特徴の新品種「いちごさん」が、H30年にデビューし、県内栽培面積の97%まで拡大している。（収穫量全国9位）



たまねぎ

白石地区を中心に甘みのあるたまねぎが生産されている。（収穫量全国3位）



アスパラガス

平坦部を中心に栽培され、全国的にも早い時期から出荷が開始。収穫量も全国トップクラスである。（収穫量全国3位）



茶

主産地の嬉野市は、「蒸し製玉緑茶（むしせいたまりよくちゃ）」を中心として、希少性の高い「釜炒り茶」の産地として知られている。



ハウスみかん

唐津地区での生産が多く、4月～9月に出荷されている。（出荷量全国1位）



肉用牛

「佐賀牛」は、全国有数の銘柄牛となっている。香港・シンガポール等へ輸出し、好評を得ている。



米

うるち米には、県ブランド「さがびより」や「夢しずく」などがある。もち米は、全国でも有数の産地の一つである。



二条大麦

水田における水稻の後作として作付けされている。主な品種は、品質・収量に優れた「サチホゴールド」である。（収穫量全国2位）



大豆

「フクユタカ」を中心に、ブロックローテーションにより効率的に生産されている。（収穫量全国3位）



ノリ（養殖）

栄養分の豊かな有明海で、高品質な海苔が生産されている。（生産枚数全国2位）



佐賀県内の各地域における農林水産物

唐津・東松浦地域

【農畜産物】かんしょ、こねぎ、トマト、いちご、ハウスみかん、葉たばこ、肉用牛、豚、米
【林産物】乾しいたけ
【水産物】かたくちいわし、まあじ、さば類、えび類、いか類、ぶり類（養殖）、まだい（養殖）、ふぐ類（養殖）、かき類、真珠

伊万里・西松浦地域

【農畜産物】きゅうり、ぶどう、日本なし、もも、うめ、キウイフルーツ、肉用牛、ブロイラー、米
【林産物】乾しいたけ
【水産物】まだい（養殖）、はまち（養殖）、真珠、くるまえび（養殖）

鹿島・藤津地域

【農畜産物】みかん、ぶどう、キウイフルーツ、茶、豚、ブロイラー、米
【林産物】乾しいたけ
【水産物】このしろ、貝類、かき類、ノリ（養殖）、くらげ、シバエビ等

佐賀中部・佐城地域

【農産物】ほうれんそう、なす、トマト、アスパラガス、れんこん、みかん、もも、米、小麦、二条大麦、大豆
【林産物】乾しいたけ
【水産物】貝類、ノリ（養殖）、くらげ等

鳥栖・三神地域

【農畜産物】ばれいしょ、いちご、アスパラガス、乳用牛、米、小麦、二条大麦、大豆
【林産物】乾しいたけ

武雄・杵島地域

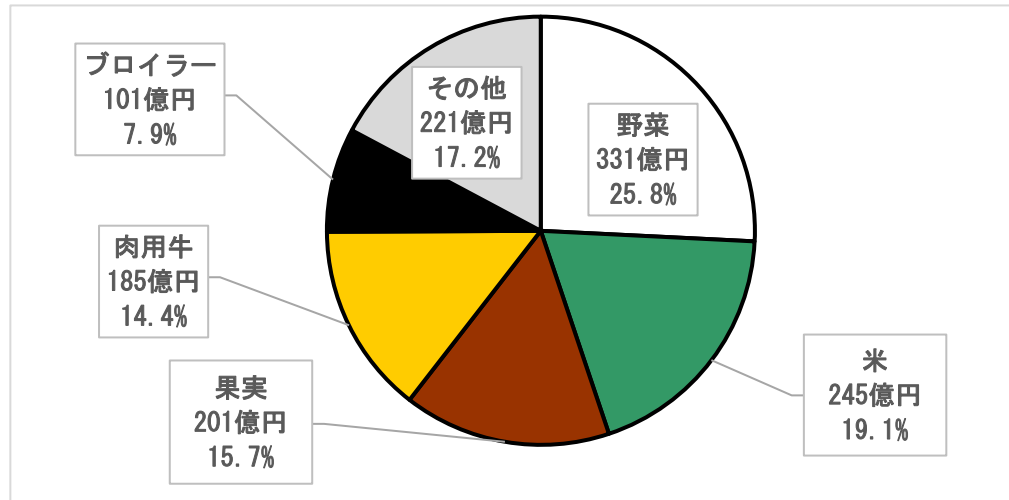
【農畜産物】キャベツ、レタス、たまねぎ、れんこん、ブロッコリー、いちご、きゅうり、肉用牛、米、小麦、二条大麦、大豆
【水産物】貝類、ノリ（養殖）、くらげ等



佐賀県の農業（１）

- ・農業産出額は1,284億円で全国27位。うち米が245億円（19.1%）、野菜が331億円（25.8%）、畜産が378億円（29.4%）。
- ・農畜産物の生産状況は、二条大麦が全国2位、小麦、大豆、たまねぎ、アスパラガスが3位、みかん、ブロイラーが6位、いちごが9位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分		年次	佐 賀 県	全 国	全国順位
水稻	収穫量	R6	113,100 t	7,345,000 t	24
二条大麦	収穫量	R6	28,800 t	119,100 t	2 *
小麦	収穫量	R6	36,200 t	1,029,000 t	3
大豆	収穫量	R5	15,500 t	260,800 t	3 *
たまねぎ	収穫量	R5	97,600 t	1,171,000 t	3
アスパラガス	収穫量	R5	2,250 t	24,600 t	3
いちご	収穫量	R5	6,620 t	161,200 t	9
みかん	収穫量	R5	40,400 t	681,600 t	6
肉用牛	飼養頭数	R6	52,200 頭	2,672,000 頭	15
ブロイラー	飼養羽数	R6	3,929 千羽	144,859 千羽	6 *

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」

農業産出額のデータ

区 分	佐賀県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,284 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	27
米	245 億円 (19.1)	15,193 億円 (16.0)	25
麦類	34 億円	678 億円	4 *
雑穀	0 億円	77 億円	37
豆類	18 億円	572 億円	4
いも類	5 億円	2,301 億円	36
野菜	331 億円 (25.8)	23,243 億円 (24.5)	25
果実	201 億円 (15.7)	9,590 億円 (10.1)	12
花き	42 億円	3,522 億円	28
工芸農作物	17 億円	1,467 億円	13
その他作物	8 億円	585 億円	16 *
畜産	378 億円 (29.4)	37,212 億円 (39.2)	28
肉用牛	185 億円	7,696 億円	11
乳用牛	17 億円	9,249 億円	42
生乳	15 億円	8,310 億円	43
豚	55 億円	7,194 億円	27
鶏	118 億円	12,033 億円	28
鶏卵	16 億円	7,413 億円	41
ブロイラー	101 億円	4,471 億円	9 *
その他畜産物	3 億円	1,041 億円	18
加工農産物	5 億円	513 億円	17

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

佐賀県の農業（ 2 ）

- ・耕地面積は4万9,600haで全国28位。うち田が4万1,400ha、畑が8,180ha。
- ・農業経営体数は1万4,330経営体で全国37位。うち法人経営体が349経営体で37位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は3,598経営体で全国24位。うち法人数が297法人で36位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が150億円で全国21位、事業体数は200事業体で43位。

耕地面積

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
耕地面積	49,600 ha	4,272,000 ha	28
田	41,400 ha	2,319,000 ha	20
畑	8,180 ha	1,952,000 ha	34
普通畑	4,080 ha	1,118,000 ha	38
樹園地	4,050 ha	248,600 ha	18
牧草地	51 ha	585,900 ha	40
参考）総土地面積	2,440.64 km ²	377,975.68 km ²	42

出典：「令和6年耕地面積（7月15日現在）」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土交通省国土地理院）

荒廃農地面積

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	7,536 ha	256,676 ha	14

出典：「令和5年度の荒廃農地面積（令和6年3月31日現在）」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
農業経営体数	14,330 経営体	1,075,705 経営体	37
法人経営体	349 経営体	30,707 経営体	37
総農家数	18,645 戸	1,747,079 戸	42
販売農家	13,293 戸	1,027,892 戸	38
参考）世帯総数	312,680 世帯	55,830,154 世帯	43
集落営農数	502 集落営農	13,998 集落営農	12

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）、「令和6年集落営農実態調査結果（令和6年2月1日現在）」

担い手への農地の集積状況

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	35,391 ha	2,593,345 ha	18
集積率	70.9 %	60.4 %	4

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和5年度版）」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	19,015 人	1,363,038 人	32
男	11,167 人	822,144 人	33
女	7,848 人	540,894 人	32
65歳以上	12,106 人	948,621 人	37
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	63.7 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	3,598 経営体	216,784 経営体	24
法人数	297 法人	29,128 法人	36
参考）人口総数	811,442 人	126,146,099 人	41

出典：「2020年農林業センサス（令和2年2月1日現在）」、「認定農業者の認定状況（令和6年3月末現在）」、「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 15,047 百万円 事業体数 200 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	21 43
農産物直売所	総額 17,541 百万円 事業体数 180 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	29 40
観光農園	総額 224 百万円 経営体数 40 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	37 33
農家民宿	総額 31 百万円 経営体数 10 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	30 * 26
農家レストラン	総額 1,071 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	15 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

佐 賀 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は20.2億円で全国39位。うち木材生産が19.1億円、栽培きのこ類生産が0.9億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国33位、竹材が全国8位、わさび根茎が9位。

林業産出額

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
林業産出額	20.2 億円	5,562.5 億円	39
木材生産	19.1 億円	3,257.0 億円	29
栽培きのこ類生産	0.9 億円	2,199.2 億円	47

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
素材生産量	140 千m ³	20,647 千m ³	33
針葉樹	140 千m ³	18,926 千m ³	30 *
ひのき	62 千m ³	3,180 千m ³	17 *
すぎ	78 千m ³	11,917 千m ³	34
広葉樹	0 千m ³	1,721 千m ³	40 *
ひらたけ	生産量 12 t	4,372 t	12 *
乾きくらげ類	生産量 2 t	122 t	13 *
竹材	生産量 7 千束	898 千束	8 *
わさび根茎	生産量 2 t	356 t	9 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
林野面積	110,610 ha	24,770,201 ha	43
国有林	15,241 ha	7,153,338 ha	36
民有林	95,369 ha	17,616,863 ha	42
人工林面積	73,500 ha	10,133,111 ha	39

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
林業経営体数	406 経営体	34,001 経営体	31
法人経営体	58 経営体	4,093 経営体	29

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
製材工場数	45 工場	3,749 工場	38
製材用素材の入荷があった工場数	45 工場	3,722 工場	38
国産材のみ	30 工場	3,116 工場	36
国産材と輸入材	15 工場	511 工場	14

出典：「令和5年木材統計」

佐賀県の漁業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は310億円で全国16位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のこのしろが全国5位、海面養殖業のくろのりが2位、ふぐ類が4位、真珠が6位。
- ・漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が32億円で全国14位、事業体数は20事業体で18位。

漁業産出額

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	310 億円	15,265 億円	16
海 面 漁 業	60 億円	9,534 億円	32
海 面 養 殖 業	249 億円	5,731 億円	9

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,317 経営体	65,662 経営体	20
内水面漁業経営体数	10 経営体	4,076 経営体	45

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	2,965 人	121,389 人	14
男	2,458 人	109,757 人	18
女	507 人	11,632 人	10

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
漁船隻数	3,911 隻	109,283 隻	11
動力漁船	1,695 隻	58,906 隻	13

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	44,728 t	3,777,921 t	22 *
海面漁業漁獲量	6,286 t	2,926,411 t	36
このしろ	80 t	4,099 t	5 *
まあじ	373 t	92,280 t	26 *
海面養殖業収獲量	38,442 t	851,509 t	9 *
ぶり	764 t	94,646 t	11 *
ふぐ類	202 t	2,742 t	4 *
くろのり	37,032 t	191,546 t	2
真珠	107 kg	12,298 kg	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	22 t	51,908 t	36 *
内水面漁業漁獲量	7 t	21,567 t	31 *
内水面養殖業収獲量	15 t	30,341 t	37 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	佐 賀 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 3,242 百万円 事業体数 20 事業体	179,159 百万円 1,220 事業体	14 * 18
水産物直売所	総額 571 百万円 事業体数 10 事業体	34,988 百万円 810 事業体	20 * 20
漁家民宿	総額 50 百万円 経営体数 10 経営体	5,389 百万円 540 経営体	22 * 13
漁家レストラン	総額 63 百万円 事業体数 10 事業体	13,249 百万円 380 事業体	27 * 8

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

佐賀県の農林水産業の話題等（１）

「さが園芸888運動」推進の加速化

園芸部門の産出額を令和10年に888億円に増加させることを目指し、県ではJAや市町と一体となって、園芸団地の整備や露地野菜の生産拡大などを行う「さが園芸888運動」を展開している。

県内産地では、いちご、アスパラガス、きゅうり等の施設園芸が盛んであり、中でもきゅうりは、統合環境制御システムの導入が進んでおり、通常の作型に比べ収量が約1.5～2倍高い。

いちごは、平成30年に鮮やかな赤色と爽やかな甘みが特徴の新品種「いちごさん」がデビューし、現在、県内の97%まで栽培面積を拡大している。

ナスでは、令和6年に単為結果性、かつ、とげなし性で、草勢が強く、高収量・高品質な新品種「佐賀N4号」がデビューした。

また、かんきつでは、佐賀県が20年以上の歳月をかけて品種開発した中晩柑の「にじゅうまる」が、令和3年にデビューした。食べ応えのある大きさや爽やかな香りで貯蔵性にも優れることから、今後の生産拡大に期待が寄せられている。



H30にデビューした「いちごさん」



R6にデビューした「佐賀N4号」



R3にデビューした「にじゅうまる」



無加温ハウスで栽培されている「にじゅうまる」

条件の良い水田をフルに活用した農業の推進

平坦地域の水田では、区画・排水等の生産基盤、共同乾燥調製施設等の整備等が進み、条件の良い水田を活用して、米・麦・大豆を組み合わせた生産性の高い土地利用型農業が展開されている。

また、集落営農組織等の担い手への農地利用集積が進み、機械・施設の有効利用等により低コスト生産を実現し、二毛作等による耕地利用率は133.3%（令和5年）と38年連続で全国1位である。

更なる麦・大豆の収量増と品質確保対策や農地利用の集積から集約化に向けたステップアップなどが課題となっている。



R7にデビューした「ひなたまる」



食味ランキング15年連続「特A」を獲得

佐賀県の農林水産業の話題等（２）

中山間地域の振興

県北部の中山間地域では、条件の不利性等から担い手不足の問題を抱えているため、県は「さがの元気な中山間地域づくり対策」により特色のある高品質な果樹や野菜等の生産拡大や米づくりなど農林業関係事業の拡充で後押しを行っている。また、棚田地域振興法を活用し、棚田を核とした振興にも取り組んでいる。



わらびの
蕨野の棚田



浜野浦の棚田

農林水産物等の輸出促進

ＪＡグループ佐賀のブランド牛である「佐賀牛・佐賀産和牛」は、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」からの輸出開始により、香港、タイ、シンガポール、米国など各国・地域への輸出促進が一層図られている。
【輸出実績：16.4トン（平成21年度）⇒ 84.9トン（令和5年度）】

日本酒（佐賀酒）は、佐賀県酒造組合が中心に関係機関と連携し、17の酒蔵がアジアや欧米地域を中心に輸出に取り組んでいる。



佐賀牛



The SAGA 認定酒

新規就農者の育成：「トレーニングファーム」の取組

県内の新規就農者を育成するため、ＪＡ、佐賀県、市町など関係機関が連携し、地域が重点的に振興する園芸品目の就農を希望する者に、研修ハウス「トレーニングファーム」での栽培技術研修や経営ノウハウを含む座学研修を平成29年度から実施しており、これまでに86名を受け入れている。

また、研修後の独立に向け、農地、施設の確保まで含めたサポートを行っており、研修生のほとんどが地域に就農している。



トレーニングファームでの研修の様子

有明海のノリ養殖と森・川・海をつなぐ取組

有明海は、干満の差が最大6mと大きく、大小さまざまな河川が湾内に流入し、栄養分が豊かな漁場となっている。このような特徴を生かし、ノリ養殖が盛んに行われており、販売枚数・金額は全国2位となっている。

県民の暮らしは、森・川・海の手がかりで守られていることを認識してもらい、植樹体験や稚魚放流などの保全活動につなげていく「森川海人っプロジェクト」に取り組んでいる。



有明海とノリ養殖



もりかわかいと
森川海人っプロジェクト